

オオムラサキ

富士宮市立富士見小学校学校だより
第9号 令和7年1月31日



学校HP <http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/18fujimi/>

学校教育目標	共に学び めあてに向かう 富士見っ子 ～違いを認め合い 互いに頑張る～		
本校で育てたい 資質・能力	①生活や既習事項を生かす力	③問題解決力	⑤協働する力
	②情報を集める力	④コミュニケーション力	⑥学びを振り返る力
	⑦言葉を上手に使う力(こどもたちから提案された力です)		

全校児童数(1月31日現在) 男子205名 女子172名 計377名

こどもたちの安全・安心を守る「富士見小コミュニティ」

校長 山口 佳之

平成24年度に富士見小学校から離れて12年ぶりに戻ってきて気付いたことは、相変わらず通学路には危険な場所が多いという事実と、それでも徒歩通学のこどもが多いという素晴らしい実態でした。12年間のうちに、不審者事案の増加や感染症の流行、こどもの減少で複数人登下校ができない地域も出てきて、前任校では保護者の送迎が増えてきていました。歩かなくなるというのは、体力の低下につながりかねません。私が中学の頃、遠いところから通学している子ほど、体力があったり、足が速かったり、持久走が得意だったりしたのは偶然ではないと思います。本校では、入学説明会のときに「徒歩での通学」をお勧めしていますが、以来それを意識し続けてくださっている方が多くいらっしゃいます。そのためには、学校が通学の安全を約束できなければいけません。しかし、全国的に教職員の「働き方改革」が喫緊の課題になっている今、できることは限られてきます。そこで、「コミュニティ・スクール」を立ち上げ、協力を依頼しようという動きになっています。

ところが、富士見小学校では、40数年前から「富士見小コミュニティ」がすでにこどもたちの安全・安心を守り続けてくださっています。お一人お一人のお名前は個人情報ですからここでは紹介できませんが、毎朝、7時ころから交通指導に立ってこどもたちを励ましてくださっている交通安全協会地区役員の方、交通指導員の方、ボランティアの方など15人以上の皆様がいらっしゃいます。また、PTA校外指導部の計画で、保護者の皆様も定期的に朝の交通指導をしてくださっています。年間登校日数204日間の見守り、ありがとうございます。おかげで、令和6年度の登下校中の交通事故は0件です。また、1年生の下校を中心に見守りをしてくださっているPOSS (Patrol Organization for Safety & Security 富士宮安全・安心パトロール隊)の皆さんにも本当にお世話になっています。こうして、教員の力ではできない部分を、コミュニティの力で支えていただいているのです。

さて、信号機のない横断歩道では、歩行者が渡ろうとしている場合、車両は一時停止して、歩行者を安全に横断させなければならないという交通ルールがあります。そのルールがどれくらい守られているか全国調査をしたところ、左の表のような結果になったそうです。静岡県は8位タイの68.8%だったそうです。全国平均が53.0%だったので平均以上にルールは守られています。約半数の車両はまだ一時停止していないということですが、この数字は、年々向上しているということを知って安心しました。

順位	都道府県名	2024年
1	長野	87.0
2	石川	80.9
3	岐阜	75.2
4	熊本	74.8
5	福岡	74.3
6	宮城	70.3
7	宮崎	70.2
8	福島	68.8
8	静岡	68.8

横断歩道で停車する割合

富士見小学区の信号機がない横断歩道で渡ろうとしているこどもがいた場合、安全に停車してくれる車は私の感覚で98%ぐらいです。朝の急いでいる時間に行きたくないと考えているはずですが、それにもかかわらず、多くの車はゆとりをもって停車し、笑顔で車を再発進させてくれます。毎朝のうれしい瞬間です。

長野県では、どうして車が横断歩道で停まるルールが守られているのでしょうか。どうやら、停車してくれたドライバーにお辞儀をする歩行者が多いということが関係しているようです。停車するのは当たり前ですが、歩行者が「わざわざ私のために停まってくれてありがとう」の気持ちをお辞儀で示すことで、「停まってよかったなあ。よい気持ちだ。よし、また停まろう。」という効果が広がっているのではないのでしょうか。実は、富士見小学校のこどもにも、渡り終わったときに振り返って、ドライバーにお辞儀をする子が数名います。誰に教わったのか分かりませんが、人を笑顔にするよい行いです。一方では、友達との話に夢中で挨拶をせず、左右の確認もしないで歩行者優先を当たり前のように渡り始める子もいます。車の中には、こどもが横断歩道に立つ前に駆け抜けてしまおうと逆に速度を上げる人もいますので、両者のタイミングが合ってしまったときが心配です。急に走り出したり、横断中に戻ってきたり、こどもは思いも掛けぬ行動を取ります。ハンドルを握るときは気を付けてください。

ちなみに、横断歩道に歩行者がいても停車しなかった場合は、減点2の反則金9000円です。

教育の日:授業参観

1月18日、「富士宮市教育の日」として、授業参観を行いました。こどもたちは、えのき学習や生活科などでこれまで学んできたことについて、他学年、保護者、地域の方に向けて発表を行いました。1年生は「見て！きいて！1年生のおべんきょう」として、絵やクイズ、実物を使って紹介しました。2年生は「えがおいっぱい発表会」として、図書館探検の様子や野菜作りについてスライドや紙芝居で発表しました。3年生は、「オオムラサキのことを教えるよ！」をテーマに、飼育方法や成長の様子についてスライドやクイズで分かりやすく発表しました。4年生は「わたしたちにできること」をテーマに、環境問題や自然災害とその対策について自分たちにできることを考えて伝えました。5年生は「ふだんのくらしのしあわせ～ふ・く・し～」をテーマに、福祉に関わる人・もの・ことについて調べたことについてスライドで発表しました。6年生は「南海トラフ巨大地震～自助・共助・公助～」をテーマに、災害の仕組みや備え、災害時に命を守る方法について、調べたことや体験したことについて発表しました。どの学年もICTを活用して資料を提示したり、クイズや紙芝居を行ったり、聞き手を意識した工夫が見られました。

保護者や地域の皆様からも、発表に対して感想や質問をしていただき、こどもたちの励みとなりました。ありがとうございました。午後には、5年1組の児童が富士見小を代表して、富士根南小・中学校とオンラインでえのき学習で学んだことを発表しました。



たてわり活動

1月22日、今年度5回目のたてわり活動を行いました。たてわりリーダーの6年生が遊びの計画を立てて、下級生も楽しめるように工夫しました。教室の中では、ハンカチ落とし、いすとりゲーム、何でもバスケットなど、運動場では、だるまさんが転んだ、ドッジボールなど、どのグループも楽しそうに活動していました。異学年間の交流を図ることで、下級生に優しく接するこどもの姿が多く見られました。



避難訓練

1月24日、避難訓練を行いました。今回は避難訓練の日時を予告せずに、適切な判断、行動ができることを目的に昼休み中に地震が起きたという想定で実施しました。各学級では、事前に6年生がえのき学習で作成した動画を見て安全な行動について考えることができました。これからは南海トラフ地震や自然災害への備えについて、一人一人が考え行動できるよう指導していきます。



2月の行事予定

- 3(月) 昼礼 なわとび記録会週間
- 4(火) 3年読み聞かせ 6年中学校紹介
- 5(水) 校納金振替日
ひばり号 富士見読書の日
- 6(木) 富士見小入学説明会
- 7(金) 委員会引継式
- 8(土) オオムラサキ教室
- 10(月) 4年昼話
- 11(火) 建国記念の日
- 12(水) たてわり
- 13(木) 2年読み聞かせ 学校評議員会
P T A運営委員会
- 15(土) 市小中学校図工・美術作品展
P T A材料作り委員会(頭数管理)
- 16(日) 市小中学校図工・美術作品展
- 17(月) ありがとう週間 5・6年昼話
- 19(水) ありがとう集会②③お弁当の日
午後特別日課 14:00 下校

- 20(木) こども安全の日
- 23(日) 富士山の日 天皇誕生日
- 24(月) 振替休日(天皇誕生日・富士山の日)
- 26(水) 午後特別日課 **お弁当の日**
下校 14:10 集団下校
- 27(木) 委員会活動
- 28(金) P T A専門委員会・運営委員会

- 【学校司書来校日】 5・6・18・19
- 【ALT来校日】 6・20
- 【SC来校日】 13・28
- 【不登校支援員来校日】 7・14・21・28

紙の日プロジェクト2月

	大岩	富士見ヶ丘/阿幸地/万野	三園平/ひばりが丘
新聞・雑紙	10	12	14
雑誌・雑紙 段ボール	17	19	21

※各学年ごとの日課短縮は、学年だよりをご覧ください。